

souSei

そうせい

2010年11月

No.151

特集

世音に耳を澄ます。
もっと社会とつながる—お寺ケーススタディ①



Messages of love will change the world.

仏様の命をいかす

私たちハロークリーンは、「伝統あるお寺様とご先祖様をもっと身近に」を理念に匠の技で全力を尽くす事をお約束します。お寺様から檀家様のお仏壇・仏具までの修理修復を最良の工法にてご提案します。



天蓋

傘対角線 105cm
参考価格 約25万円



幢幡一対

長さ 180cm
参考価格 約16万円



御仏像

高さ 60cm
(仏像本体)
参考価格
約8万円
(台座・光背込み)



常花一対

高さ 90cm
参考価格
約5万円

ご要望に応じた施工

「安価で綺麗にしたい」「部分的な修理修復」「新品のような仕上がり」「風情を残し次世代に渡したい」などの様々なご希望を伺いながら最適なケアをご提案します。

安心・安全技術

伝統的な技術を構築し、ご住職様のニーズを取り入れ最高の素材と最高の道具にて、日々安全で安心な施工に努めてまいります。

お見積り無料(北海道から鹿児島県まで)

合い見積りでも構いません。参考資料として頂ければ幸いです。「由緒あるお仏壇・仏具を綺麗にして今後も保存し、子孫へ受け継いでいきたい。」そのお手伝いが出来ればと願っています。

このたび通産省・東京都中小企業経営革新企業承認企業となりより一層努力して参ります。

齋藤商会 0120-918-388

ハロークリーン 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-22-13-1F
北海道から鹿児島までお見積り無料

http://www.hello-clean.com E-mail h.c.2009@jewel.ocn.ne.jp

巻頭特集

世に

もっと社会とつながる

お寺ケーススタディ ①

今、お寺の今後のあり方が問われています。『公益法人制度改革』の一連の流れの中で、公益法人として位置づけられる宗教法人にも、今後そのメスが入ることが取り沙汰されています。それに加え、戒名や布施の現状について批判的に取り上げた書籍が書店に並び、「直葬」と呼ばれる僧侶が介在しない葬儀の方法が広がりを見せています。

「今後、寺院は一体どうあるべきか?」「これまで、葬儀を通して社会とつながってきたはずの寺院は、今後、社会とどうやってつながっていくべきか?」「私たちの悩みは深まるばかりです。」

そこで、そのヒントを探るべく、今号と次号の2号にわたり、「もっと社会とつながるため」に様々な取り組みに乗り出している寺院を訪ねます。

そもそも公益法人制度改革とは?

平成12年秋頃から、一部公益法人の不適切な運営が社会問題となったことを契機に、公益法人制度の見直し論議が始まりました。その後、平成18年に『公益法人制度改革関連3法案』が閣議決定、第164回通常国会において法案が可決され、平成20年より施行されるに至りました。その主な内容は、「法人格取得と公益認定の切り離し」、「準則主義(登記)による非営利法人の登記での設立」、「主務官庁制廃止と民間有識者からなる合議制機関による公益認定(認定を受けると、税

制優遇措置を受けることができる)」、「公益認定の実定化」、「中間法人の統合」、「既存の公益法人の移行・解散等」といったものです。今回の『公益法人制度改革関連3法案』は、公益法人のうち、社団法人、財団法人を対象としたものであり、宗教法人や、学校法人、社会福祉法人などは対象外となりましたが、仏教界においては、宗教法人の公益性に関するシンポジウムや勉強会が数多く開催されるなど、教団や寺院が今後どのように対応していくべきか、論議が巻き起こりました。

耳を澄ます。



『太宰百年を送るキャンドルナイト』で灯される、NPO法人燭光の再生ロウソク

「寺院の公益性」に関する主な論点

それらの論議を通して、以下のような論点が浮かび上がってきています。

① 宗教本来の活動には公益性があるか

宗教は、社会全体に精神の安定をもたらす、また、人間の道徳・倫理の根幹を提供しているため、そもそも公益性があると、主に宗教学の分野から指摘されています。

② 公益的な社会活動に取り組みべきか

宗教法人は、社会と無縁ではないのだから、社会と関わる必要があるのは当然であり、また、宗教者個人が、日頃から人々の悩みや社会苦に鋭敏であればあるほど、従来の寺院の活動を越えた領域に、活動の範囲が伸びていくのは自然である

との指摘があります。その一方で、宗派本来の教義や、宗教法人の本来の活動目的である宗教の教義をひろめ、儀式行事を行い、及び信者を教化育成すること」(宗教学法第二条を歪めてまで、認知されやすい公益活動に取り組みことは、本末転倒であるとの指摘もあります。

③ 現状では、多くの寺院の活動は「公益」とどまっているのではないか

檀信徒ら特定の人たちを対象に活動している寺の現状を挙げ、「特定多数の人々に対する利益＝公益」とどまっているとの指摘があります。

何故、今、寺院のあり方が問われているのか？

戒名問題、直葬の広がり、そして公益性の問題。こうした、寺院のあり方を根底から問うような流れは、一体何故生まれているのでしょうか？『中外日報』(平成20年3月4日社説)は、その背景を、「宗教の『公益性』が真つ向から問われるのは、それだけ宗教の社会的基盤が弱まっている証拠だろうか」と指摘しています。

もつと社会とつながるために

地域社会ともつとつながるために、私たち僧侶は何をなすべきか。今回の特集では、そのヒントを探るべく、檀信徒のみならず地域の人々の声、「世音」に耳を澄まし、それを、そもそも「縁を結ぶ場」であった寺院において育て、積極的

私たちは、今、各々の寺院の、それぞれの立地地域における基盤やつながりが弱まっているか否かを検証する必要があるのではないのでしょうか？そして、もつとつながっていく必要があるのではないのでしょうか？

にしている寺院をケーススタディします。活動に至るきっかけや経緯。成果、そして今後の課題。何より住職をはじめ、関与している方々の思いをお伝えすることが、お寺が、もつと社会とつながる契機となることを願っています。

使用済みロウソクを再生し、「人権・平和・環境」に取り組む

NPO法人 燭光◎青森県・雲祥寺



使用済みロウソクを磨くお檀家さんたち

旧金木町の中心部、太宰治の生家である斜陽館から徒歩1分に位置する雲祥寺。太宰が幼い頃、子守であったタケに連れられ、よく眺めたと言われる地獄極楽の御絵掛地・十王曼荼羅があることで有名なこのお寺の境内の一角に、「NPO法人燭光」の工場がある。

使用済みロウソクを原料に、再生ロウソクを製造し販売。また、「人権・平和・環境」に取り組む団体に再生キャンダルを寄付する活動を行うこの法人が設立されたきっかけは、理事長である一戸彰晃師(雲祥寺住職)の、ある気づきだった。「お寺でよく使われるロウソクは、そのほとんどが使い切られずにゴミとして廃棄されている。また、ロウソクの原料は石油資源であるパラフィンであり、環境汚染の原因ともなる。何とかできないだろうか」

そこで、再生ロウソクを製造する機械を、懇意にしていた外崎鉄工所さんと共同開発することにしました。その開発は苦勞の連続だったという。

「そもそも、ロウソクの製造方法がわからない。再生ロウソクを手掛ける企業は日本にはなく、本当に試行錯誤の連続でした。たまたま、私どもの趣旨に賛同するあるロウソク工場の社長さんの協力で、工場を見学することができ、ようやく道が開けました。足掛け4年間かけてやっと完成にこぎつけた製造機を前に、一戸師はその苦勞を語ってくれた。



雲祥寺住職 一戸彰晃師

一戸師は、この活動を始める前から、「狭山事件を考える青森県住民の会」などの人権擁護活動や様々な住民運動に積極的に関わってきた。そんな師にとって、曹洞宗のスローガン「人権・平和・環境」はその活動の大きな指針であったという。ロウソクの再生は、その中の「環境」問題を解決するものとして取り組んできた。そして、その活動は新たな広がりを見せる。

師は以前から、日本のNPO立ち上げの契機となった「阪神・淡路大震災」に強い関心があり、また、その追悼イベントで灯されるキャンデルのやわらかな光を見て、何か協力できないものか、助け合える仕組みは作れないものかと考えていた。そんな中、関西の協力者の働きかけにより、「阪神・淡路大震災の追悼イベント」に、使用済みロウソクを使って作ったキャンダルを1000個送り届けたのだ。

「捨てられるはずだったロウソクが、沢山の人の心を温めることができたんです。また、被災地ではロウソクが明りや暖房として必要とされている。これからは国内だけでなく、ロウソクを必要としている世界中のひとたちに届けたい。再生ロウソクを通

して、人権・平和・環境全てに取り組めるように、今後さらに活動を広げていきたいんです」と師は夢を語る。

その夢の元となる使用済みロウソクは、新聞、テレビなどでの紹介を通じてNPO法人燭光の活動に共鳴した寺院などから届けられる。それを、主に梅花講に所属するお檀家さんたちが、手作業で煤(すす)を取り除く。その後、製造機の溶釜釜で熱して溶かし、芯を中心に通した型に流し込む。私も、実際に製造を体験してみたが、分単位で手順が細かく決められており、その手順を少しでも間違えると、ヒビが入ってしまい、売り物にならないという。再生ロウソクだから、と言いつつはしたくない。完成度の高いものを送り届けたい」と師の表情が引き締まる。約30分でロウソクが固まり、レバーを回すと、生まれ変わったピカピカのロウソクが機械からせりあがってくるのだが、その瞬間は鳥肌ものだ。再生ロウソクのサイズは30号、4本入りケース1スター(計48本)を八千四百円で販売している。

「使用済みロウソクは、お陰さまで沢山集まるのですが、再生ロウソクが思ったより売れないのが悩みですね笑」

法人収入の内訳は、会費収入と再生ロウソクの販売益。そして寄付金とのことだが、再生ロウソクの販売が伸び悩んでおり、原料費や法人税を支払うと収支はトントンだという。聞けば、青森県内のNPO法人の大半が安定した収益がなく、休眠状態の法人も多いという。しかしながら、



使用済みロウソクが生まれ変わる瞬間



高齢者と子供たちが集う寺

NPO法人 二塚よりどころ◎富山県・歓盛寺

「NPO法人二塚よりどころ」は、富山県高岡市の曹洞宗歓盛寺の境内にある福祉施設。地域のかけこみ寺として知られるこの施設の代表を務めている仙田智治師は、歓盛寺住職の傍ら、「二塚よりどころ」の副理事長として日夜、檀務と福祉事業に励んでおられる。仙田師は、大きな福祉施設での勤務経験があり、その経験から、より自宅に近い環境や関係性を重視したケアができないか、利用者やご家族の選択肢を少しでも広げられないか、またお寺であることを活かしたことができればと考え、一念発起して平成18年12月に「二塚よりどころ」を設立した。

まずはじめに、「NPO法人二塚よりどころ」の活動概要についてお聞きした。NPO法人であれば活動内容も明確になり、間口が広がるのではと考えられ



阪神・淡路大震災追悼イベントで灯されるキャンドル

NPO法人格を取得することは、信頼感を得、また活動が市民権を得られるという点でメリットは多いとのこと。また、当初は一戸師と外崎氏の、二人で

始めたこの活動だが、今や理事10名や、梅花講員などの多くの檀信徒によって支えられている。活動の輪が広がったその背景として、以前「金木病院の救急体制を維持する会」の活動に参加し、そこで地域の信頼を得ることができたのが大きな要因ではないかと師は自己分析する。また、梅花講に声を掛け、その横のつながりで参加者が増え、いったことも大きかったという。

「師の活動の原動力は何か？」と問うたところ、「常々、仏教とはどういうものなのか、仏教者としてなすべきことは何か、真剣に考えていることです」という答えが返ってきた。

「仏教はそもそも、公益をもたらずもの。苦しみ悩む人がいるならば、祈るだけや、心の問題だけに帰結させず、実際に行動すべきなのです」

師はまた、寺院や僧侶が社会活動に参加することを、地域社会が期待してくれていることを現場において肌で感じているという。また、「飛び込むことで、それが自己変革につながり、その後、社会参加、社会変革につながっていきます。飛び込むことは、仏教者の自己実現につながります」と、自身の経験を踏まえ、私たち青年僧侶には、尻込みをせず、また、言い訳をせず、思い切って社会の只中に飛び込んでいくことを期待している。師は最後に、飛び込む際の心構えを教えてください。

「『衣』というバリアーを脱ぎ、本音で、生身の人間



老若男女が集う富山型ディサービス

た仙田師は、仏教と福祉は相反しないということであって「二塚よりどころ」を宗教法人と併設した。また、大きな施設では細やかで柔軟な対応が行いにくい場合が多いこと、家庭的にしたかったということ、介護施設の規模としては少ない定員とした(ディサービスは10名、ショートステイは6名)。さらに、介護保険事業以外にも、障がいのある方や、自主事業として緊急の方や補導委託の受け入れも行っている。

当初は法律の縦割りが原因で、高齢者は高齢者同士、子どもたちは子どもたち同士でしか受入れることができなかったとのこと。しかし仙田師は、赤ちゃんとからお年寄り、障がいの有無にかかわらず、受け入れ、ふれあい、互いに支え、活かし合い、交流する場にしていきたいという考えから、高齢者と、障がいを持った子供たちを同時に受け入れる、富山型

同士互いに交流することですね。そうすることで、批判もあれば、期待も率直に打ち明けてくれ、そこに信頼が生まれ、力強い活動の輪が広がっていくはずですよ」

(取材・文長岡俊成(広報委員会委託委員))

NPO法人 燭光

住所◎〒037-0202
青森県五所川原市金木町朝日山433
電話番号◎0173-53-2074
Fax番号◎0173-52-3090
E-mailアドレス◎oldpine@jomon.ne.jp
ホームページURL◎
<http://www.jomon.ne.jp/~oldpine/shokko/>
法人形態◎特定非営利活動(NPO)法人
理事長◎一戸彰晃
設立年月日◎2009年1月(認証)
主な活動内容◎
①使用済みロウソクの回収
②再生ロウソクの製造と販売
③「人権・平和・環境」問題に取り組む団体への再生ロウソクの提供
年会費◎1,000円(正会員、賛助会員とも)
会員数◎約50名(うち、理事は11名)



歓盛寺住職 仙田智治師



歓盛寺の境内にある「二塚よりどころ」

デイサービス(共生型)を採用した。この共生型が、老若男女の相互作用を生んでいるとのこと。実際に、高齢者が子供たちをあやしたり、子供たちが高齢者と遊ぶことで主体的な役割ができ、家族のような絆で結ばれているという。NPO法人「二塚よりどころ」の目指すものは、老いること、育つこと、できなくなること、できるようにすること、楽しみと喜び、苦しみと悲しみ、それぞれの場面で必要なとき、必要だけ寄り添うこと。職員と利用者といった隔てがなく、地域の中にある大きな家族を目指して、みんなで暮らしていくことだと仙田師は言う。

次に、お寺が果たすべき社会貢献を尋ねたところ、「特別なことをするのはなく、一般の人々と同じ目線で今の困りごとに向き合っていくべきです。私の場合は、それを広くするために色々な制度を活用してきました。社会に認知される活動を持つべきかと思いますが、一番大事なのは、僧侶として目の前の求め、苦しみに応じていく菩薩行を行っていくことだと思えます。仏道が根底にあるべきで、公益性



明るい家庭のような施設内

を世が求めているから何かするのではなく、自発的に行動を起こし、それが仏道にかなうかどうかを考え、またそれを続けていけるかが大事です。そうすれば、自然と社会貢献に繋がっていくと思えます」と、仙田師は自身の経験を踏まえて語ってくれた。

次に「NPO法人「二塚よりどころ」の運営の仕方について尋ねた。」まず運営の前提として、お寺には檀家制度があります。そのため、多くの方がそれ以上のことをしようと思わないし、まわりも同じ考えですので、簡単には認められません。そのため、私はまわりの理解を得るために趣意書を作成し、どうしてこのようなことをしようと考えたのかを明確にしました。当然お金も必要です。NPO法人だからといって大きな減免があるわけではありません。介護保険制度を使うことである程度は安定的な活動はできますが、僧侶としてはそれがメインではなく、障がいのある方ですとか、通常受け入れが困難な方の受け入れ場所になればいいと思います。自主事業とし

て受け入れると資金運営面では厳しくなり、それなりの覚悟が必要です。資金は銀行以外にも私募債をまわりのお寺さんや一般の方から募りました。仙田師はこのように、これまでの苦労を語ってくれた。「今後の寺院のあるべき姿は？」という問いには、きっぱりと「お寺のありかたは今も昔も変わりません」と答えられた。さらに「お寺はいつの時代も人々の苦しみに応えてきました。今後も、人々のニーズに応えるためにどうするか探るべきです。私たちはこのことを、もがく力と呼んでいます。このもがく力そのものがお寺のあるべき姿です。お寺で活動する住職や寺族がお寺であり、活動する人たちがもがいて、まわりの人の期待に応えていくことが大切です」

最後に宗侶が日頃から実践すべきことを尋ねたところ「どのような人でも、他人だけと身内のような関係を築いていくことが理想ではないでしょうか。他人行儀も大事ですが、もっと積極的に他人と深く関わらなければなりません。多少馴れ馴れしいと思われてもいいと思いますし、僧侶としての立場を逆にして活用して意図的にアプローチしていくべきだと思います」と、若い宗侶たちに期待を込めて語ってくれた。

(取材 文川口高裕(広報委員会委託委員))

NPO法人 二塚よりどころ

住所◎
〒933-0816 富山県高岡市二塚1316
電話番号◎0766-63-1212
Fax番号◎0766-63-7272
E-mailアドレス◎
yoridokoro2005@yahoo.co.jp
ホームページ◎
<http://www.29po.com/business/print.php?b=321>
法人形態◎特定非営利活動(NPO)法人
代表者◎仙田智治師
設立年月日◎平成18年12月
主な活動内容◎富山型デイサービス(通所介護)、ショートステイ(短期入所)、障がいのある方や緊急の方、補導委託の受入れ
入所者数◎デイサービス(定員10名)、ショートステイ(定員6名)

- 2 **特集** 世音に耳を澄ます。
もっと社会とつながる—お寺ケーススタディ①
- 8 **全曹青、発信せよ**
電話相談事業開催レポート
委員会、只今活動中。
告知
- 12 **加盟団体ニュース・スポット**
souseiぱれっと 山口県曹洞宗青年会



- 14 **賛助費浄納御芳名簿**
- 16 **あまみずのダイアログ 11**
山の麓にある、縁生の家(後編)
- 18 **お坊さん婚活心得 3**
- 19 **お寺暮らしのライフデザイン 3**
- 20 **寺めぐり 街めぐり 6**
日本最北の城下町に残る
松前藩ゆかりの古刹を訪ねて
- 23 **メント** 生死を想う 6

表紙写真・制作・撮影／日山賢吾（三重県 栖雲寺）

- ① **慈悲の教育**
齋藤昭俊編 6090円
- ② **仏教教育の展開**
久木幸男編 8610円
- ③ **仏教と教育学**
和田修二編 7140円
- ④ **仏教と道徳**
成瀬良徳著 8085円
- ⑤ **仏教教育の実践**
神仁著 6090円
- ⑥ **仏教と生き方**
齋藤昭俊著 7350円

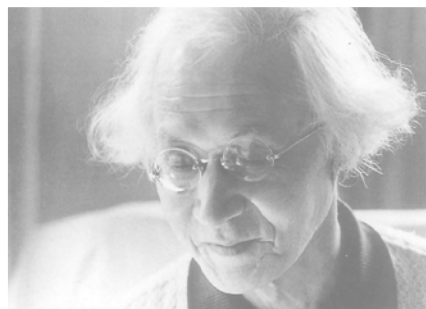
「仏教にもとづく教育」の理念と実践、その歴史的展開と現代の課題を、最新の研究成果と実証的データをふまえて詳細に論究した初めての選集。仏教教育研究の現時点での集大成にして、教育再生への必読の書

仏教教育選集

齋藤昭俊 監修

戦後間もない困窮と混乱の中で、「未来学」「地球主義」という概念を使い、日本の行く末を構想。いま、新たな未来像を描くにあたって示唆に富む一本である

【復刻版】菊判・上製 4935円



未来学原論

21世紀の地球との対話

仲小路彰

戦後の世界を驚くべき正確さで予言した、知られざる歴史哲学者による啓示の書



国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15
TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427

http://www.kokusho.co.jp
sales@kokusho.co.jp

第2回電話相談員養成 発展研修会

開催レポート

発展研修会日程(京都会場)

◆1日目(8時間)

10:00 受付
 10:45~11:15 開講式
【発展研修①】(3.0時間)
 11:20~12:20 傾聴・電話相談の特徴の復習
 <昼食>
 13:00~15:00 傾聴ロールプレイ(シナリオ自作)
【発展研修②】(2.0時間)
 15:15~15:45 記録用紙の記入法
 15:45~17:15 記録用紙ロールプレイ
【発展研修③】(2.0時間)
 17:30~18:30 自死について考える①
 講師:前田宥全師(東京都正山寺住職)

<夕食>

19:15~20:15 自死について考える②
【発展研修④】(1.0時間)
 20:30~21:30 社会資源の利用法
 21:30~21:45 事務連絡

◆2日目(6.5時間)

【発展研修⑤】(2.5時間)
 8:00~9:00 トラブルを避けるために
 9:15~10:45 対応が難しい事例の実習
【発展研修⑥】(1.5時間)
 11:00~12:30 専門家に学ぶメンタルケア
 <昼食>
【発展研修⑦】(2.5時間)
 13:15~14:45 電話相談窓口の開設と運営の方法
 15:00~16:00 全体のふりかえり
 16:00~16:30 閉講式・解散



会場となった株式会社 北ブライトホール(京都府)



講師の大塚明子先生



携帯電話を使ったロールプレイ

残暑厳しい京都に於いて、平成22年9月7日(火)~8日(水)の日程で、第2回電話相談員養成発展研修会が開催されました。参加者は、久間会長、基幹事業委員を含め50名余りで、近畿地区のみならず全国各地から参加者が集いました。それぞれが真剣に真剣な眼差しで、京都の暑さに負けぬ、熱い思いで参加されていました。外部講師には、自殺対策に取り組

む僧侶の会副代表の東京都正山寺住職前田宥全師を東京会場の研修会に続きお願いしたほか、埼玉県越谷市医療法人秀峰会心療内科病院楽山に臨床心理士として勤務され、公的機関や民間団体において電話相談員もされていらっしゃる大塚明子先生をお招きして貴重な講義をしていただきました。また、今回の研修会開催に際しま



満場の参加者

しては、全曹青の事業にご理解をいただき、京都基礎研修会でも会場を提供していただいた無学寺様、研修会場を快く無償でご提供していただいた京都公益社様、また運営全般にご協力くださいました京都曹洞宗青年会様、誠にありがとうございました。研修会を通して多くの質問や意見をいただきました。それぞれにとって有意義な研修会だったと察しました。修了証を受け取った多くの参加者が、これをきっかけに全曹青電話相談事業への参加や、それぞれの地域や立場において研修で得たことを活かしていただければ幸いです。



最後に、久間会長から参加者に修了書が授与された

●●●●梅花流法具販売指定店●●●●
 法衣・袈裟・打敷・寺院荘厳具・京仏壇・京仏具

安 株式会社 安 藤

京都市東山区古門前通花見小路東入(☎605-0081)

☎ 0120-29-8161 法衣部
 ☎ 0120-29-8165 仏具部
 ☎ 0120-19-8168 贈答品部

東京店 / 東京都港区芝2-15-2(☎105-0014)
 ☎: 0120-3232-09
 福岡店 / 福岡市博多区上呉服町12-7(☎812-0036)
 ☎: 0120-2143-22

電話相談員養成 基礎研修 補講

開催レポート

第2回基礎研修会補講

本研修会は、9月6日(月)に、京都の無学寺様を会場に開催されました。参加された京都曹青会員の2名は、共に翌日からの第2回発展研修会に参加する予定だったことからでしょうか、ロールプレイへの取り組みもさることながら、テキストへの書き込みも多く、研修への積極姿勢が目立ちました。

講師は、秋吉基幹事業委員長と森田副委員長が務めました。講義の途中やロールプレイの合間に、質疑応答や意見交換を頻繁に行なうことができたため、最後のコマに用意してあったふりかえりの時間は割愛いたしました。

13時から19時頃まで、ほとんど休憩無しの研修会でしたが、発展研修につなげるには十分だったのではないかと思います。



第1回基礎研修会補講

本研修会は、8月30日(月)から31日(火)にかけて、曹洞宗檀信徒会館5階微笑庵に於いて開催されました。受講者は3名で、基幹事業委員3名が講師役を務めました。

標準的な基礎研修プログラムには、外部講師が担当する時間枠がありますが、今回は基幹事業委員が代わりに講義をしました。

少人数での研修会でしたが、受講者と基幹事業委員の距離が近く、対話的で濃密な研修会となったように思います。

屋内での研修会であったとはいえ、酷暑の中、参加者諸師の疲労も大きかったことと思います。お疲れ様でした。



参加者の声

この研修のおかげで、電話だけでなく、あらゆる相談に対して、寛容になったような気がします。

対応が難しい事例の実習で、相づちや言葉の一言で相談者の態度、話し方がここまで変わるとは思っていなかった。

人を助けるということは大事です。しかし、甘えのあることを言われたら、どうしても、「ここは違う」と言ってしまうようになります。

「傾聴」実践にあたり電話相談ではなく地域の施設を訪問したり、独居されている高齢の方を訪問したり、という活動もありうるのかなと考えています。

相談に接する際の心の持ち方は勿論ですが、自分自身のメンタルケアについても気づかされることもあり、日常を送る上でのヒントになったようにも思っています。

「できない」「わからない」も答えの一つというのは安心する。

布教師や梅花などといったもののような資格になればと思います。

千葉県宗務所がされているように、各宗務所で電話相談を設置するのが望ましいと思う。



委員会、只今活動中

全曹青、発信せよ。

執行部

＊平成22年7月26日に曹洞宗檀信徒会館に於いて、第3回理事会・特別委員会を開催し、会計・会務、会則規程の検討や災害対策に関する協議をしました。また同日に第19期会長選考委員会も開催されました。

平成22年9月13日には第3回執行部会、翌14日には第4回理事会・特別委員会、並行して第19期会長選考委員会を、曹洞宗檀信徒会館にて開催し、委員会等の活動報告や頒布事業等についての協議、11月の臨時評議員会に向けて諸事の確認検討を行いました。

法式委員会

＊『洞上僧堂清規』現代的改訂事業については、入力編集作業が終了し現代風の読み方や新字体に統一するなどの細部校正段階に入っています。また、『出班焼香法』DVD頒布事業についても、すべての映像資料の収録が完了し、今後は各委員の確認を経ながら最終的な校正を済ませ年内配布を目標に行う予定です。『二師侍者公務帖』加筆再版事業については、8月に完成しこれから頒布方法等の打ち合わせを行います。



▲完成した『二師侍者公務帖』を手にする桑山委員長

広報委員会

＊今期の懸案だったホームページ『般若』のリニューアルについては、事務局ICTとも連携しながら作業を続けていましたが、6月17日によりやく一般公開の運びとなりました。今回リニューアルに至った理由は、システムを取り扱う上での運用の円滑化を図ったものです。

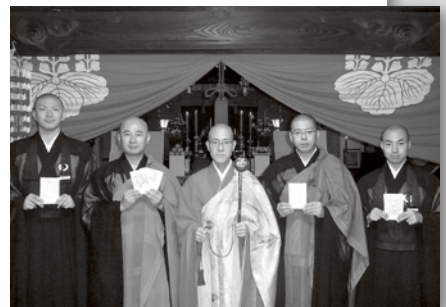
【従来のホームページ運用の問題点】

- ページの作成等に一定の専門知識が必要だったこと。
- ファイル修正にセキュリティがあり、制作者が限定されるため、特定の制作者(担当)への作業負担が大きかった。
- 期を跨いだ運用で、ファイル数の階層が過重となり、結果的にデザインの変更やカテゴリーを増やすなど、ホームページに当該期の独自性を反映させることができなかった。

以上の問題点を解決すべく、今回は『WordPress』というCMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を採用したことで、より独自の迅速な情報発信が可能となりました。

総合企画委員会

＊「花まつりキャンペーン」にて、多くの方々から寄せられた塗り絵ハガキは、9月末日に大本山永平寺様、大本山總持寺様に奉納いたしました。記念品につきましては、9月の理事会に於いて管区理事諸師により厳正なる抽選が行われ、来年度も多くの方にご参加いただきたいという思いを込めて、色鉛筆のセットを百名の方にお贈りいたしました。両大本山様をはじめ、頒布にご協力頂きました全国の御寺院様には厚く御礼申し上げます。



▲塗り絵ハガキ大本山總持寺奉納の際に、佐武殿司老師(中央)および大衆の方と、松岡総合企画委員長(左から2人目)

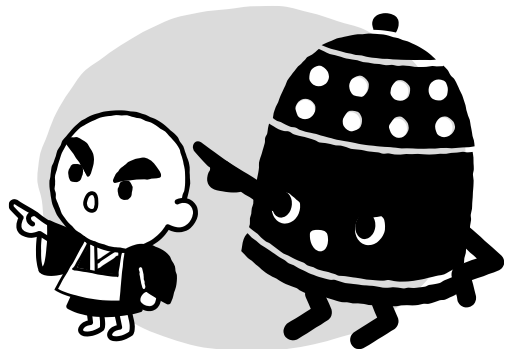
両大本山御用達
梅花流法具販売指定店

法衣・装束・荘厳・神仏具・贈答用記念品

 株式会社 梅金商店

(全国曹洞宗法衣同業会会員)

〈本 社〉〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目39番33号
(大須交差点東北側)
TEL(052)241-0901(代表) FAX(052)241-1904



平成22年度 全国曹洞宗青年会 臨時評議員会並びに臨時総会のご案内

標記の件につきまして、以下の通りに開催致します。

【臨時評議員会】

- 日 時／平成22年11月22日(月・友引) 13:00より
- 場 所／曹洞宗檀信徒会館 5階 研修道場
- 議 事／各委員会等活動経過報告、会計中間報告、第19期全国曹洞宗青年会会長選考について等
- 研修会／『防災とボランティアを考える学習会』
度重なる被災ボランティア活動を展開された山口曹青の会長・大野泰生師による報告発表と、東京災害ボランティアネットワークの方を講師としたワークショップを通じて、防災ボランティアから日常の福祉課題を考えていただく研修会とする。

【臨時総会】

- 日 時／平成22年11月22日(月・友引) 臨時評議員会引き続き
- 場 所／曹洞宗檀信徒会館 5階 研修道場
- 議 事／第19期全国曹洞宗青年会会長選考について等

※出席のお申し込みにつきましては、各青年会の評議員様宛てに所定の用紙を送付致しております。(※切済み)

訃報
佐賀県唐津市・長得寺御住職の長井福雄老師が、8月28日に遷化されました。世寿69歳。長井老師は全曹青第2期からご出向され、第4期には副会長をお務めになりました。ご老師の在世時の回顧を含めた追悼文につきましては、次号掲載する予定です。ここにこの遷化を悼み、謹んで哀悼の意を表します。

全国曹洞宗青年会

全日仏青 「TERRAへ祈る」

全日本仏教青年会では、今17期の集大成として「TERRAへ祈る」と題し全国大会を開催致します。今回は「子どもが子どもを支援する国際協力」を合言葉に活動する団体「フリー・ザ・チルドレン・ジャパン」をパートナーとし、広く子どもたちに慈悲と世界平和を訴えるイベントとしたいと考えております。

詳細は「般若」のリンクからホームページをご覧ください。

- 日程／平成23年3月3日(木)
- 会場／恵比寿ガーデンホール

と き た び こころの時代にこころの旅を

国内団参・海外仏跡巡拝の事なら経験豊かなビーエス観光へお申し付け下さい。

 **ビーエス観光グループ**

沿革

70年前には仏教青年会として活発な活動があったことが分かっていきます。現在の名称がついたのは昭和51年のことです。

「僧侶として社会に何ができるか」を各時代に知恵を絞り、社会の実情にあわせて柔軟に発想し、新しい活動を創造し取り組み続けているところに山口曹青の特徴があります。



**山口県
 曹洞宗青年会**

現在の活動

行事は、月に2〜3回程度行っています。今年度力を入れているのは11

月11・12日に山口市で行う「第33回中国曹洞宗青年会山口大会・心の大学講座」です。青年僧侶だけでなく、檀信徒や一般に公開する講座も設けています。年間では、一般の方を対象にした行事は、緑蔭禅の集い・戒弟の集いなどがあります。緑蔭禅は昔

昭和51年以降の活動では、緑蔭禅の集い、曹青授戒会、心の大学講座など、檀信徒・一般を対象に定期的に開催を行っています。近年は特に心の大学講座に力を入れており劇「徹通義介禅師のご生涯」の自主上演・「大般若法要と和太鼓演奏会」などを行っています。

ボランティア活動としては、カンボジア難民救済活動、タイ山岳少数民族教育支援活動、ミャンマー難民に冬物衣類を贈る運動、災

2泊3日で行っていましたが、参加者の希望からここ数年は日帰りで開催しています。戒弟の集いは曹青授戒の参加者を対象に毎年日帰りで行っています。

ボランティア活動は、平成8年よりタイ山岳少数民族教育支援活動を継続しています。募金やクラフト販売などの日常の活動の他、毎年一度は子どもたちの顔を見に現地に赴いています。また緊急の災害復旧活動などにも参加しています。山口県では2

設立	昭和51年8月発足
会長	大野泰生
副会長	池田亮一・清成良知
理事	15名(各教区より)
事務局長	清木隆法
執行部	矢野善隆・森江裕孝 清木玄栄・渡辺永聖 角光全・野坂正道 田村光雄・村上邦明 藤村光昭・小室公寛 末武正憲・大庭俊洞 南健司
会員数	60名(平成22年10月1日)

年連続7月に豪雨にみまわれ、大きな被害ができました。ボランティアアセンターを通じ活動に参加した他、義援金活動なども行いました。会員や徒弟・寺院には、月例研修・徒弟研修(研修旅行や托鉢など)・寺院婦人セミナー等を開催しています。また年3〜4回のかわら版発行・HPの運営も行っています。この他、全国青少年教化協議会の墨蹟展の協力など、関係団体への協力を行っています。

害時(阪神大震災など)の緊急支援活動などがあります。SVAの故・有馬実成師の出身県でもありその活動に深く関わってきました。現在もSVAや山口県のNPO法人ボランティア山口と共同しながら活動を行っています。全曹青へは、第10期会長として吉川俊雄老師が就任されました。近年ではIT委員会、青少年教化委員会、広報委員会などへ出向しています。出向者のおかげで、災害対応やIT導入など助かった面

も多々あります。今後全曹青・各曹青会との連絡・協議を大事にし、活動を行っていきたくと考えています。



〈右上〉第33回中曹青山口大会のチラシ(H22.11)
 〈右下〉平成20年5月 劇「徹通義介禅師のご生涯」を上演。
 〈左上〉平成22年3月 タイ山岳少数民族教育支援、学生寮視察。



平成22年7月
山陽小野田市にて
水害復興支援活動。

山口曹青の ココが すばらしい!

山口曹青の素晴らしいところは、幅広い活動が行えること、そして会員の参加が多いこと、県の御寺院様、OBの皆さんの理解・協力が大きいことです。

先にも書きましたように、昨年は豪雨によって防府、山口、山陽小野田に災害が発生しました。現地を調査し被災された方々の目の当たりにした時、お盆前という動きにくい時期でありながらも、「放っておけない」とすぐにボランティアに入る事が決定しました。活動は会員だけでなく、OB会員も大勢参加されました。

義援金活動も平行して行いましたが、県内の御寺院様の多くが夏の施食会など集まりの際に檀信徒の皆さんに呼びかけて浄財を募ってくださいました。

その後もボランティアに入ったときのことがよく話題になり、「災害は無いに越したことはないが、もし何かあったらすぐに手伝

いに行こう…」と多くの会員が異口同音に話しをしています。緊急の活動でしたので取り組んでいるときには様々な心配が

ありましたが、会員やOBの皆さんの協力で乗り切ることができました。終わってみたとき改めて、会員の意識の高さ、そして県内のご寺院の皆さんの心の広さ・温かさを感じました。これは先般の事例ですが、こういった緊急支援のみに関わらず、普段の行事や活動においても同様です。

山口曹青の ココが課題だ

現在取り組んでいる、またこれからも取り組んでいきたいのは連絡体制の強化です。中でも次の二つを課題にしています。

一つ目は、会員同士・協力団体との連絡です。会務を行って思うのですが、連絡というのは本当に難しいものです。連絡が少なすぎると様子が分からないし、連絡が多すぎると煩わしくなる。ほどよい連絡を継続していくことは困難です。

日常的には執行部・理事へはメール・リングリストを利用して行っていますが、役のない会員へは郵送で案内を送っています。通常はこれで十分なのですが、いざ緊急事態となるとこれでは間に合いません。活発な活動が行われていても、そのことを知らないために参加できなかつた経験をもつ会員は少な

くありません。

二つ目はノウハウの伝達です。行事を計画立案する方法、準備を行う手順や注意点などは、その役を受けた一部の人のみしか伝わりません。しかしこういつたノウハウは曹青活動のみならず、寺務で必ず役に立つものです。それを伝えていく方法を見つけたいと考えています。

現在行なわれている事、またどうやったらそれができるのか、これは知っているのと知らないのでは天地の隔たりがあります。皆の糧となるよう取り組んで行こうと思います。

ろうせいサポーターズより



曹洞宗山口県宗務所 所長
吉川俊雄 老師

我が県に於いても曹青の皆様を抜きにして教化活動を語ることができません。曹青の皆さんに足を向けて寝られないという言い過ぎかもしれませんが、本当にそんな思いであります。是非これからもっともっと動いて欲しいですね。手を動かし、足を運んでください。これから鏝湯・炭の厳しい局面があろうとも、1にも2にも3にも動いて清風を起こしてください。これからの活躍を一層期待しています。

NPO法人シャンティ山口
代表理事

角 直彦

「ともに菩薩行の実践を」

永年に亘り当会に対し、青年会としてのボランティア活動に協働して頂き、有難うございます。今後ともさらに、会員各位が菩薩行の実践をしているという「自覚」を持ち、宗教活動の精神的「柱」にされ、社会と共に歩む寺院活動をされることを願っています。貴会、また会員各位のますますの活動向上を祈念します。 合掌

■シャンティ山口の活動については、ホームページをご覧ください。

災害復興支援について



山口県曹洞宗青年会 会長
大野泰生

2年続けた災害に多くの方々から物心両面でご協力を頂き心より感謝申し上げます。現場に入る時には不安もありましたが、全国から集まっているボランティアの方から「曹洞宗がまた来てくれた」と歓迎され、これまで各地で活動している姿が受け止められていることを感じました。今期からボランティアに入るかどうかは各曹青会に任されています。決断の難しいときもあるでしょうが「苦しんでいる人の為に動く」曹青でありたいと思っています。

●福岡県

- 77 太養院 様
- 151 大円寺 様
- 158 報恩寺 様

●大分県

- 43 竺源寺 様
- 134 長安寺 様
- 146 香林寺 様

●長崎県第1

- 26 鏡円寺 様
- 78 宝泉寺 様
- 88 慈光院 様

●佐賀県

- 150 元光寺 様

●熊本県第1

- 29 妙音寺 様
- 60 含蔵寺 様
- 64 玉祥寺 様

●宮崎県

- 35 法泉寺 様
- 38 観音寺 様
- 44 浄土寺 様

●長野県第1

- 38 耕雲庵 様
- 162 大聖寺 様
- 227 岩松院 様
- 242 如法寺 様
- 300 威徳院 様
- 306 城光院 様
- 340 自性院 様
- 370 日輪寺 様

●長野県第2

- 420 金松寺 様
- 429 天正寺 様
- 441 雲龍寺 様

- 465 明光寺 様
- 493 吉祥寺 様
- 565 阿弥陀寺 様

●福井県

- 137 芳春寺 様
- 218 常福寺 様
- 269 御誕生寺 様
- 305 向福寺 様

●石川県

- 1 天徳院 様
- 132 定光院 様

●富山県

- 83 永久寺 様
- 187 親川寺 様

●新潟県第1

- 363 定明寺 様
- 380 妙雲寺 様
- 384 庄川寺 様
- 400 東福寺 様
- 415 龍昌庵 様
- 439 林興庵 様
- 477 龍泉院 様
- 487 宝泉寺 様
- 496 長楽寺 様
- 503 龍源寺 様

●新潟県第3

- 530 花栄寺 様
- 541 善福寺 様
- 552 広濟寺 様
- 557 普広寺 様

●新潟県第4

- 36 吉祥寺 様
- 69 永明寺 様
- 105 高德寺 様
- 112 常安寺 様
- 117 釋尊寺 様

- 178 清流寺 様
- 185 見国寺 様
- 211 溪岩寺 様
- 283 耕太寺 様
- 295 普濟寺 様
- 733 光明寺 様
- 738 不動寺 様
- 811 法雲寺 様
- 817 日照寺 様

●福島県

- 9 宝積寺 様
- 14 円通寺 様
- 19 常円寺 様
- 24 盛林寺 様
- 49 大泉寺 様
- 94 松蔵寺 様
- 101 成林寺 様
- 110 龍徳寺 様
- 113 円照寺 様
- 133 永祿寺 様
- 139 徳成寺 様
- 168 清光寺 様
- 174 龍徳院 様
- 226 常隆寺 様
- 240 耕林寺 様
- 246 長徳寺 様
- 274 龍門寺 様
- 339 龍源寺 様
- 373 泰雲寺 様
- 446 天宗寺 様
- 449 松庵寺 様
- 471 大泉寺 様

●宮城県

- 83 向泉寺 様
- 113 繁昌院 様
- 237 円通院 様
- 281 光明寺 様
- 282 耕徳院 様
- 293 梅溪寺 様
- 327 観音寺 様

- 352 安永寺 様
- 432 耕田寺 様

●岩手県

- 14 正傳寺 様
- 21 恩流寺 様
- 25 宝積寺 様
- 53 廣全寺 様
- 65 仁昌寺 様
- 75 宗青寺 様
- 113 興国寺 様
- 120 菅生院 様
- 123 宝城寺 様
- 147 龍徳寺 様
- 170 長慶寺 様
- 195 安養寺 様
- 226 長林寺 様
- 288 長福寺 様
- 295 東海寺 様
- 304 柳善院 様

●青森県

- 6 正光寺 様
- 27 蘭庭院 様
- 28 宝泉院 様
- 30 永泉寺 様
- 84 涼雲院 様
- 100 澄月寺 様
- 115 心月寺 様
- 122 法林寺 様
- 138 安楽寺 様
- 185 観音寺 様

●山形県第1

- 36 久昌寺 様
- 58 慶松寺 様
- 103 祥光院 様
- 142 陽春院 様
- 165 長松院 様

●山形県第2

- 332 常安寺 様

- 346 長福寺 様
- 401 長慶寺 様
- 408 普濟寺 様

●山形県第3

- 433 祐性院 様
- 502 楞嚴院 様
- 510 西光寺 様
- 623 歓喜寺 様
- 732 總光寺 様

●秋田県

- 4 寶袋院 様
- 5 嶺梅院 様
- 18 乗福寺 様
- 26 洞泉寺 様
- 33 龍門寺 様
- 34 萬境寺 様
- 85 宝円寺 様
- 116 龍安寺 様
- 128 耕伝寺 様
- 157 香積寺 様
- 174 満福寺 様
- 181 黄龍寺 様
- 196 春光寺 様
- 207 大川寺 様

- 209 満友寺 様
- 306 洞雲寺 様
- 317 本宮寺 様
- 321 鏡得寺 様
- 353 安養寺 様

●北海道第1

- 25 龍徳寺 様
- 29 法幢寺 様
- 249 浄国寺 様
- 456 大昌寺 様
- 493 東禅寺 様

●北海道第2

- 131 法光寺 様
- 171 開原寺 様
- 181 永祥寺 様
- 252 清水寺 様
- 347 大乘寺 様
- 359 東明寺 様
- 379 法音寺 様

●北海道第3

- 141 正法寺 様
- 203 西来寺 様
- 207 龍雲寺 様

全国曹洞宗青年会の活動は皆様の賛助費に支えられております。この度もご協力頂き誠に有難うございました。



賛助費払込票通信欄より

問：『sousei』150号の「お坊さん婚活心得」の記事中、「社会システムは淘汰されていくものであり、社会にとって『必要なもの』が残っていく」という部分が、「社会的弱者に対する配慮を欠いた発言」のように受け取れます。記事については、全曹青で承認済みのものと思いますので、それが全曹青の統一見解ということになるかと思いますが、会員の皆さんはそうにお考えなのでしょうか？

答：編集上の落ち度(18頁参照)で執筆者が特定されないまま掲載されたことによって、読者の方に当該記事が「全曹青の統一見解」との読解の余地を与えたことは、誠に不徳の致す所です。当該記事は「全曹青に内包する各論の一つ」であることは確かですが、全曹青会員の見解を集約したものではございません。全曹青と致しましては「会員個別の各論を全曹青の媒体にて発信することを認許した」とご理解頂きたく存じます。また、当該記事の一部表現が「社会的弱者へ配慮を欠く」とのご高見ですが、当会並びに編集部(広報委員会)は「必要なものが残る」と「社会性の多少や強弱」がイコールとは認識しておりません。当該記事では、ある種の「社会的適合」への正否共に示唆した文意であり、いわゆる「社会的弱者」が即ち「必要なもの」とは断じていないと考えます。広報委員会では、今期の編集方針の一つに「リアルボイスの発信」と掲げております。不特定多数の意向を反映した「統一見解」もさることながら、会員の個別の各論を積極的にかつ網羅的に掲載することで、誌面の性格を特徴づけようと努めております。今後は言質や表現をより明確にし、「統一見解」なのか「各論のリアルボイス」なのか、読者のみなさまが判然とご読解頂けるよう、また偏向的な論旨に終始することないよう、最善を尽くして参ります。誠に貴重なご高見、ありがとうございました。

贊助費淨納御芳名簿

平成22年
6/1~9/10

●東京都

17 龍澤寺 様
30 豪徳寺 様
79 保善寺 様
87 観音庵 様
89 浄牧院 様
90 梅岩寺 様
100 長延寺 様
119 泉龍寺 様
171 高岩寺 様
235 金光寺 様
258 東光寺 様
264 宗印寺 様
374 善福寺 様

●神奈川県第2

1 本覚寺 様
2 西有寺 様
44 東泉寺 様
80 福泉寺 様
81 貞昌院 様
93 曹源寺 様
126 常泉寺 様
131 乗福寺 様
151 正泉寺 様
383 観音寺 様

●埼玉県第1

16 慈眼寺 様
37 妙巖寺 様
64 寿楽院 様
92 浄山寺 様
93 光秀寺 様
138 心鏡院 様
187 清法寺 様
394 香林寺 様
416 昌福寺 様
417 源勝院 様

●埼玉県第2

248 長泉寺 様
260 長光寺 様
331 曹源寺 様
334 安楽寺 様
567 観音寺 様

●群馬県

115 無量院 様
142 建明寺 様
194 善宗寺 様
231 泉福寺 様

●栃木県

46 龍昌寺 様
51 豊栖院 様
94 天性寺 様
124 瑞雲院 様
161 東陽院 様
166 正慶寺 様

●茨城県

41 大雄院 様
49 東漸寺 様
50 鏡徳寺 様
92 宝積寺 様
182 龍心寺 様

●千葉県

7 満蔵寺 様
8 重俊院 様
24 仁守寺 様
28 長福寺 様
29 慶林寺 様
45 大洞院 様
93 芳泰寺 様
95 寶應寺 様
155 東漸寺 様
162 長昌寺 様
198 太高寺 様
300 智蔵寺 様

●山梨県

94 梨珠院 様
212 慈観寺 様
539 清光寺 様

●静岡県第1

6 瑞龍寺 様
45 常安寺 様
77 龍泉院 様
202 先照寺 様
459 洞雲寺 様
511 慶福寺 様
528 盤石寺 様

●静岡県第2

325 海蔵寺 様
332 龍雲寺 様
362 福泉寺 様
368 曹洞院 様

●静岡県第3

699 極楽寺 様

958 興徳寺 様
1311 宝太寺 様

●静岡県第4

1017 龍泉寺 様
1065 高林寺 様
1095 天林寺 様
1106 大巖寺 様
1112 大安寺 様
1140 竹林寺 様
1149 廣福寺 様
1177 礼雲寺 様

●愛知県第1

5 功德院 様
15 大光院 様
18 大運寺 様
25 禅芳寺 様
36 円通寺 様
58 聚福院 様
91 法持寺 様
94 法正寺 様
101 成福寺 様
104 宗福寺 様
108 香積院 様
120 宝珠院 様
131 天年寺 様
158 秀伝寺 様
166 東陽寺 様
200 日光寺 様
261 薬師寺 様
267 陶昌院 様
309 常宿寺 様
313 長松寺 様
342 常楽寺 様
343 雲居寺 様
635 永澤寺 様
1191 智光院 様
1241 観音寺 様
1266 地藏院 様

●愛知県第2

853 長傳寺 様
972 桂昌院 様

●愛知県第3

384 慈眼寺 様
411 福田寺 様
428 寶珠院 様
467 全忠寺 様
512 清凉寺 様

517 東光寺 様

●岐阜県

33 昌運寺 様
80 龍泰寺 様
99 靈泉寺 様
102 桂昌寺 様
110 薬師寺 様
148 円頂寺 様
157 玉泉寺 様
162 清楽寺 様
165 自法寺 様
188 洞泉寺 様
189 久昌寺 様
194 慈眼寺 様
200 法幢寺 様
240 林陽寺 様

●三重県第1

24 一心院 様
37 四天王寺 様
40 宝泉寺 様
83 涼泉寺 様
114 海禅寺 様
181 観音寺 様
188 広泰寺 様
203 等観寺 様
206 西方寺 様
240 安心寺 様
269 大蓮寺 様
275 龍祥寺 様
285 玉泉寺 様

●三重県第2

371 光明寺 様
389 海岸寺 様
392 大義院 様
402 阿弥陀寺 様

●滋賀県

74 總寧寺 様
184 興聖寺 様
201 林慶寺 様

●京都府

45 正法寺 様
46 栄春寺 様
73 春現寺 様
161 禅福寺 様
306 智源寺 様
334 海蔵寺 様

355 龍献寺 様
367 福昌寺 様
389 万福寺 様

●大阪府

9 洞岩寺 様
10 梅旧院 様
31 正泉寺 様
56 南昌寺 様
61 大廣寺 様
78 桂林寺 様

●奈良県

68 景德寺 様

●兵庫県第1

287 向榮寺 様
439 誕生寺 様

●兵庫県第2

115 慈眼寺 様
117 法円寺 様
134 谷松寺 様
150 圓成寺 様
157 普門寺 様
221 永源寺 様
224 善勝寺 様
276 新宮寺 様

●岡山県

4 威徳寺 様
5 景福寺 様
125 大椿寺 様
127 慈眼寺 様
131 済渡寺 様
178 成興寺 様

●広島県

1 国泰寺 様
8 聖光寺 様
22 光禅寺 様
46 雙照院 様
131 善昌寺 様
152 雲龍寺 様
161 浄久寺 様
164 妙楽寺 様
181 東明寺 様
187 仙房寺 様

●山口県

120 長徳寺 様

158 泉福寺 様
212 功山寺 様
213 高林寺 様
217 普賢寺 東堂 様

●鳥取県

1 興雲寺 様
16 瑞泉寺 様
26 天徳寺 様
30 長通寺 様
97 国分寺 様
146 妙楽寺 様
155 龍泉寺 様
159 大祥寺 様
163 雲光寺 様
185 源泉寺 様

●島根県第1

268 龍雲寺 様
304 自徳庵 様

●島根県第2

2 永昌寺 様
5 地福寺 様
6 善福寺 様
8 祐福寺 様
32 宗淵寺 様
54 雲松寺 様
63 龍覚寺 様
121 法海寺 様
134 極楽寺 様
139 十楽寺 様
141 本願寺 様
159 源入寺 様
169 長安寺 様
195 總光寺 様
203 玉雲寺 様

●徳島県

17 江音寺 様

●高知県

5 永源寺 様

●愛媛県

18 陽春院 様
34 本光寺 様
35 宝蔵寺 様
79 成福寺 様
146 興雲寺 様

www.akashibutudan.com

マジ・センゲン
「本気宣言」この混沌とした世の中に必要なのは、心の鏡と宣言致します。
お佛壇は心の鏡と宣言致します。当社は「世界にひとつだけの、お佛壇」をお届け致します。

信州いいやまあたご寺町雁木通り 株式会社 明石佛壇店 代表取締役社長 明石 洋一

造ります! ひとつだけのお佛壇



山の麓にある、 縁生の家 (後編)



あまのずの ダイアログ 11



施設での看取り

飯島▼以前、ここで利用者さんを看取った時のお話を伺って良いですか？

北澤▼亡くなった時は72歳で、男性でした。その人は前から「ここで楽しく暮らしていきたい」という希望が強く、家族のみなさんにも了解をもらって、ここで看取っていきましようという話になりました。

その時に取り決めたのは、嘱託医の往診体制で救急車を呼ばないこと。少し苦しうなら嘱託医に往診してもらって、指示をもらってあとは私たちが看るということでした。部屋は、本人さんの思い出が深い写真を置いてその人の好みの通りにさせてもらいました。

亡くなる2ヶ月前に、利用者さんのための罫摺みのイベントが開催されました。ビニールのプールに罫を放って、素手で掴んでもらって、それを僕らが焼いてお昼のおかずにしてもらうイベントなんです。たまたま彼はその日が調子良くて、車いすですイベントをやっているところまで見に来て、ニコニコ笑って罫を触っていました。その後容態の悪化で外出が出来なくなっても、ことあるごとに「あの時の罫、良かったね」と楽しんで話をしていました。

ど、ちようどその日は寮で文化祭のイベントがある日でした。さすがに一人一人亡くなっているし、開催を躊躇っていたんです。

でも、家族の方が「やってよ」と。「故人はお祭りが好きだった。祭りをやりながら死ぬなんて最高じゃないか」と仰ってくれたんです。だから

予定通りイベントをさせて頂いて寮内に安置された彼の遺体は、イベントの最中に棺しました。

一番良かったのは、利用者のみなさんがそこで、日常と死が隣り合わせにあったってことです。

彼が亡くなって葬儀される過程を見て、みんなが仲間の一人が人生を閉じたことに納得したんです。

飯島▼それまでは病院で亡くなるケースが多かったんです。急変すると搬入されて。

北澤▼そうですね。玄関先でお別れしてそのまま葬儀場へ行くという感じでしたね。しかし、生があるって死があるというのか、日常の生の方では死に向かっている人がいる。その過程を見ていることは非常に大事なことです。「自分もああいう風になるんだな」ということがまず分かります。



飯島 恵道

長野県松本生まれ。尼寺育ち。看護師としての経験を生かし、医療と宗教の領域を横断する「あまのず (amans=ama〈尼〉+ns〈ナース、看護師) 」として活動中。

障がいを持って迎える 老後の難しさ

北澤▼でも、ここ(悠生寮)で人生の幕を閉じたいって方に対しては、どういうスタイルをとればいいのか、どううってというのが、まだ分かりません。それは職員さんの意識も含めて、もう少し様子を見ないと、「一定の質を伴った対応にはつながらないかも」かもしれません。

飯島▼生活の場所に死があるのが、やっぱり職員さんにはちよつと違和感があったのでしょうか。
北澤▼ありました。私が以前、利



取材中、入居者とのふれあうあまらず。「穂高悠生寮」の受容的な雰囲気にも心洗われるひと時。

用者さんに「最期はどこで死にたいですか?」っていう意向調査をしようとしたら、結構反発がありました。「そんなことを聞くのは失礼だ」「そんなことを聞くとパニックになる人がいる」って。でも、私は「利用者さんにも答える義務や権利があるのに、なぜ死を聞きたくないの?」って思うんです。

飯島▼「ご本人の意思を尊重しましょう」とは言っているものの、職員さんにとっては大変なことですね。みんなそれぞれに忙しくて、自分の時間が犠牲になるのを望まない。だから万が一には慌てて、とにかく「救急車!」とか「病院!」って。施設の現場からすると、専門を分けて役割分担した方が、職員が過重負担から解放されて良いのかもしれないけれど。

北澤▼病院以外の選択肢としては、高齢者施設と介護療養型医療施設があります。以前は、介護が必要になつてきた利用者さんには、言葉巧みに介護療養型医療施設に移ってもらっていました。介護療養型医療施設は、介護の面では十分にケアしてくれるけれど、それ以外は「今日はどう?」って世間話をするわけでもない。ただベッドに寝ていて、24時間の全人的なケアがあるとは言い切れません。そして高齢者施設。実はここはすごく敷居が高くて、知的障がい者は入居できる可能性が低いんです。

3000人くらい待機者がいる中で、少なくとも施設にいる人たちは生活の保障はされているから、在宅に比べて緊急度が低いんです。利用者さんが色んなケースのメリット・デメリットを踏まえて、ターミナルを自己選択できるようにすると良いんですが。

飯島▼「だからこそそのお話を聞いても、何となく思いを馳せることができるのは、やっぱり看護師の時代に在宅ケアをやっていたからだと思います。病棟の看護しか知らなかったら、多分生活の部分まで目がいかなかったと思うんですよ。「あと行政や福祉の世界だよ」と言っていて見ない。在宅の場合はそれは出来ませんから。その点で、ここは本当に「頭の中に区別がない」というか、そのものをそのものとして見て対応して、「受け容れられる」って雰囲気がありますね。

北澤▼「領域としてマイナー」です。750万人と言われる高齢者群の中で、知的障がいのみならずは45〜60万人と言われています。

「マイナー」だからこそその発信

でも、いくら少ないと言ってもも生の価値は人それぞれに等しいはずですよ。

飯島▼社会からの周辺化、マイナーという点では、尼僧も似た境遇のところがあるかもしれません。でも、大勢がマイナーに気付かないことを責められないこともあり。実家の尼寺や尼僧堂にいる間は「自分がマイナー」って気付かなかったんですけど、送行してから僧形で東京に行ったんですよ。そうしたら高田馬場駅で全然見えず知らずの人に、物珍しげに「良い頭の形しているな」って頭撫でられて。まだ20代だったんですけど、「何なんだ、これは」って。「自分は2年間も尼僧堂にいたんだ」「お坊さんなんだ」ってプライドがあったと思うんですけど、それが頭を撫でられて「社会に出たら、尼僧の扱いはこんなものか」って思いました。尼僧の中にも先入観というか「前に出てはいけない」という不文律があります。でもマイナーだからこそ、積極的に発信して社会的認知度を獲得していく努力が必要ですよ。



きたざわかっみ
北澤克巳

60歳。インタビュー当時(2010年2月)は「穂高悠生寮」施設長。障がい者のみなさんとの関わりをライフワークにしたため、定年後は施設からより地域に近い場所で、関わりを持ち始めました。若いみなさんと汗と感謝の日々です。

社会福祉法人りんど信濃会 穂高悠生寮
長野県立の知的障がい者総合援護施設「西駒郷」の保護者らが中心となつて、比較的高齢な知的障がい者の居住施設として設置された県下6か所の悠生寮のうちの一つ。昭和58年に開設された。定員は男性25名、女性25名の計50名。
〒399-18305
長野県南安曇郡穂高町牧
電話 (0263) 83-4728
FAX (0263) 83-4727
URL <http://www.hotakayusei.jp/>

お坊さんの「生活力」

全曹青広報委員 城市泰紀(石見曹洞宗青年会)

気

づけば同安居のほとんどが結婚をし、披露宴に呼ばれることもめっきり減ってきた。サラリーマンをやっている弟にも先を越され、焦りはないにしろ、毎日のように周りから「結婚」について促される。

私は僧侶でありながら保育園の園長として勤める、いわゆる「兼業僧侶」である。在家の方であれば自分が「生一緒にいたい」と思う相手と結婚というのが理想であろう。私の場合、「自分にとってベストな相手?」「僧侶としてベストな相手?」「保育園を経営するに当たってベストな相手?」「どれを選ぶべきなのか随分悩んだ過去がある。実際に交際相手のご両親に「僧侶だから」という理由で交際自体を反対されたこともある。仮に右記3つをすべて満たした自分にとってパーフェクトな相手がいたとしても、相手が婿養子望まなければいけない場合は困難となる。地元の島根県益田市は、人口5万人にも満たない小さな町だ。市内の誰かと交際すれば「ごの子か」がすぐに噂になり、相手にもストレスを与えることになる。牧歌的な町にありがちな「退屈のき」なのだろ

う。そのせいだろうか、周りは市外から結婚相手を迎え入れるパターンが多いように感じる。

現

在、石見曹洞宗青年会で実際に活動に参加している人数は10名を切っている。宗務所管内西部の曹青会員でも「専業」の方は1名しかない。ほとんどが副業で生活している状況だ。隣り町には新聞配達をしながら糊口を凌ぐ青年僧もおられる。



僧侶の一人暮らしならともかく、結婚して円満な家庭生活を営むためには、とても「祇園正儀」のようにはいかない。家計を養うある程度の収入も必要だろう。お寺の場合、それを檀務によって賄うことが真つ先に想起されるが、ここに住んでいると、「お寺で食べる」そのこと自体に不安を感じざるを得ない。

全国の曹洞宗寺院の平均年収は565万円といわれる(平成17年曹洞宗宗勢総合調査報告書)よ

り。また、厚生労働省の『平成18年 国民生活基礎調査』によると、一般家庭の世帯別の平均所得金額は563万8千円。データだけ見ると、「坊主丸儲け」と揶揄される実態はなく、一般と比べても年収に大差はない、とも感じる。

しかし、あくまでもこのデータは「全国平均」である。実は前述の565万円という数字には「註釈」があって、調査標本となった寺院のうち、約半分は年収300万円に満たないのだ。

この地域の現状について、島根県第一宗務所長の門脇利法老師にお聞きした。

「宗務所管内の西部46ヶ寺のうち14ヶ寺が兼務寺院。1ヶ寺あたりの檀家数が100軒に満たないお寺がほとんどで、中には檀家0軒というお寺もある。兼務寺や無住寺が増える理由の大半は、経済的な困窮から跡取りがないため。お寺だけで食べていくのは非常に難しい。このような状況下で子弟や青年僧に『寺を継ぎ、守ってほしい』とは強要し難いことである」。

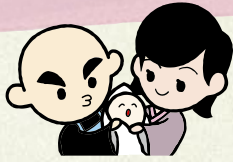
内

閣府刊行の『平成17年版 国民生活白書』によると、「女性は結婚相手に対して経済力を重視する傾向がある」と報告されている。それが事実なら、ここでは「僧侶(比丘・男僧)の結婚」には不都合な条件ばかり、と暗澹とさせられる。

所長老師は「だからと言って引いてほしくはない。確かにこの地域には若者が少ないが、だから若者の存在価値が高い。その中でボランティア活動などを通じ、地域の人たちと関係を積極的に持つことで世間の僧侶に対するマイナスイメージが変化し、好感・好意の方向に変わってくると思う。(宗門僧侶として結婚する事が必ずしもベストとは思わないが)自らの活動により良縁が引き寄せられることを祈っていることも仰った。確かに、管内東部には「専業」の方ばかりの教区がある。経済的な基盤は西部と大差ないが、頻繁に法要に呼び合うなど互助に努めたり、托鉢をして生計を養っておられるのだ。

今回の投稿で「結婚」について改めて考えさせられた。経済的理由を含めた諸々の言い訳を作り「結婚できない理由」を作っていた気がした。しかし、まだまだ迷走は続きそうである。

お寺暮らしの ライフデザイン ③



CASE #3 岐阜県土岐市・清安寺様

山内構成 大久保厚志師(住職 全曹青総合企画委員)
久美子さん(妻) 雄弘くん(長男 7歳)
早也佳ちゃん(長女 5歳) 陽平くん(次男 3歳)

- **厚志** 今、長男は英語塾に通っています。
- **久美子** 幼稚園の時に英語の先生がいっちゃって、それがきっかけで「英語をやりたい!」と意志を示したので。
- **厚志** 理由はそれだけじゃないよね(笑)。
- **久美子** そうですね。私も大学が英文科でしたので、英語をやっている損はないと思いますし、本人がやりたいことをやらせてあげたいな、と思います。
- **村上** まだお子さんも小さいですが、次代への展望はございますか?
- **厚志** 基本的には長男に跡を継いで欲しいと思います。
- **久美子** 今の段階では(性格的に)跡継ぎなら長男が一番向いていると思いますね。そのために生まれてきたのかなって思うくらい(笑)。今年のお盆には、念願の棚経デビューも果たしました。
- **村上** お檀家さんも喜ばれたでしょうね。
- **厚志** そうですね(笑)。
- **村上** 今後、お子さんたちの学業や進路に具体的なお考えはありますか?
- **厚志** 公私立を問わず、本人たちがやりたい環境で勉強をして、色んな可能性を試してくればと思います。
- **村上** 生涯教育費は子ども一人当たり1000万円程度掛かると言われます。大学の学費だけでも、平均すると500万円強になります。ちょっとおもしろい話をさせて頂きますと、お母さんがよくお子さんに「勉強しなさい」って仰りますね。実は、この言葉にはかなりの覚悟があるのです。というのも、



聞き手
むらかみ しげる
村上 滋



住友生命保険相互会社 中部ブロック チーフFP
(1級ファイナンシャル・プランニング技能士【CFP認定者】)
中部5県(愛知・岐阜・三重・静岡・長野)の専任FPとして、ライフプランニング、相続・事業承継、社会保険(公的年金等)、法人個人の税務対応等の講演、講習、セミナーやその個別相談を行なっています。
〒461-0004 名古屋市中区葵3-15-31 住友生命千種ニュータワービル5F
TEL(052)936-1510

8歳のお子さんに朝昼晩に1回ずつ「勉強しなさい」と、仮に大学に入学する18歳まで10年間言い続けると、1年は365日ですので、例えば貯金箱に1回言う毎に500円ずつ貯めていくと、全部で3652日分、「2日」という端数は閏年が2回ありますので…。

● **久美子** 細かいですね(笑)。

■ **村上** すいません、ここは笑って頂くところなのですが(笑)、500円×3回×3652日=547万8000円貯まります。これがお子さん一人を大学に出す一般的な勘定になりますね。

● **久美子** そこまで具体的な金額は想定していませんでしたが、生活費をやり繰りして、必要な時に使えるように学資保険を貯めています。それにお稽古ごとなどが加わってくると、正直なところ家計的にはいっぱいいっぱいです。でも子どもたちにやりたいことがあるなら、そのサポートをしてあげたいと思います。

● **厚志** 結婚して家族ができたことで保障についても色々検討しました。でも一般の保険会社には財務体質やコンプライアンスへの一抹の不安もありますし、公的年金制度の今後でも不安ですね。

■ **村上** 宗教法人を含む公益法人には、基本的には厚生年金が適用されます(『厚生年金保険法』第6条や『健康保険法』第3条に記載の「適用事業所」を参照)。国民年金は、もし「万が一(死亡)」があった場合は、月単位だと10万円も保障されないんですね。厚生年金だと、だいたい15万円程度になります。また、先日も某銀行のペイオフが話題になりましたが、万が一保険会社が倒産すると、『生命保険契約者保護機構』から、破綻時点の補償対象契約の責任準備金等の90%までが契約者に補償されます。みなさん色々な夢、「ライフデザイン」をお持ちになります。それには時系列的に「マネーデザイン」も必要になってきますし、その過程では、どうしてもリスクが発生するんですね。ご病気だとか、最悪の場合は「万が一」のことが起こった時に、じゃあそれから先の夢は全部諦めなければいけないとしたら、それは寂しい話です。ご家族の夢を途切れさせないための保険活用、とお考え頂ければと思います。(文中、敬称略)

日本最北の城下町に残る

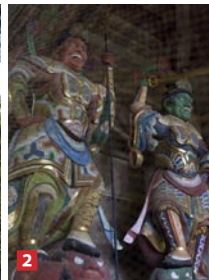
松前藩ゆかりの古刹を訪ねて

日本最北の城下町、松前町。その繁栄は「松前の春は江戸にもない」と言わしめるほどであったが、やがて幕末の動乱期、新政府側についた松前藩は旧幕府軍の攻撃によって落城、町の三分の二を焼失した。そして、城下の寺もまた焼き払われた。しかし、寺町にいまも残る藩とゆかりの深い古刹は、史跡・文化財としても貴重な存在となっている。

1



3



2

- 1 法幢寺山門 戦禍を免れ、天保9年(1833年)当時のままの姿を留める。左右に四天王を配した四天王門
- 2 向かって右側の四天王
- 3 手入れの行き届いた法幢寺の境内。本堂は箱館戦争での焼失後に再建された



若狭(福井県)から渡った二人の僧侶が伝道

松前家の祖は、若狭(福井県)の武田家の血を引く武田信広に始まる。その信広の縁者と言われる若狭の僧、伝心随芳和尚が文明元年(一四六九年)、奥尻島に草庵を結んだのが北海道内での曹洞宗の起りといわれる。

この草庵が法源寺の開創でもあり、奥尻島から上ノ国を経て大館へと移り、延徳二年(一四九〇年)、松前の地に築かれた。

道内に曹洞宗を開いたもう一人の僧が、同じく若狭神通寺の天室宗源和尚である。文明二年(一四七〇年)、松前大館に法幢寺を建立するが、戦禍によって焼失。天文十五年(一五四六年)、現在の地に再建された。

江戸時代には法源・法幢両寺に末寺が開かれ、法幢寺は触頭に任ぜられるなど、藩と係わりの深い寺として、ともに繁栄を極めた。

法幢寺は焼失後、蠣崎家三代義広と四代季広の二代にわたる尽力によって再建、松前藩の成立にともない、松前藩主の菩提寺となった。境内裏手には歴代藩主とその室や子を祀る「松前藩主松前家墓所」もあり、五十五基の墓碑がひっそりと並ぶ。

一方、法源寺は初代武田信広と二代蠣崎光広の菩提寺であり、いずれの寺も藩とゆかりの深い古刹として永い歴史を歩み続ける。



取材にご協力をいただいた法幢寺三十一世木村清韶住職(右)と副住職の木村清憲師



5



4



8



7



6

- 4 法源寺山門 江戸時代中期のものと思われる四脚門で、道内最古の山門と言われる(国指定文化財)
- 5 法源氏山門から本堂へと続く境内の参道
- 6 「双竜の滝」が流れる法幢寺の庭園。松前城への導水路を兼ねて造られた
- 7 惣門越しに眺める龍雲院の境内。松前で唯一戦禍を免れた最古の寺
- 8 龍雲院本堂の彫刻 戦禍を免れた本堂に残る欄間彫刻(本堂を含む五棟の伽藍が国重要文化財指定)

寺男の機転で 焼けずに残った最古の寺

もう一カ寺、松前の古刹の中でも創建(改築)当時の姿をほぼそのままに留めているのが龍雲院である。公家から興入れされた、七代公広の正室桂子夫人が、長男の栄達を祈って建立したもので、山号・寺号は桂子夫人と長男の戒名に由来している。建立は寛永二年(一六二五年)。本堂と庫裏は天保十三年(一八四二年)に建て替えられたが、戦禍を唯一免れたこの寺は、松前に残る寺院の中でも最も古いものとされている。箱館戦争(戊辰戦争)で多くの寺が焼き払われた中、この寺だけが焼けずに残ったのは、寺男の機転によって難を逃れたからだと言えられる。



10



9

- 9 緻密な彫刻が残る龍雲院惣門の扉(国重要文化財指定)
- 10 龍雲院の鐘楼(国重要文化財指定)



13



11

- 11 松前家御霊屋 戦禍を免れた貴重な仏堂。室内には歴代藩主の位牌が祀られている(法幢寺)
- 12 松前藩主松前家墓所 19代にわたる歴代藩主とその室、子などを祀る55基の墓碑が静かに並ぶ
- 13 松前家墓所へと続く参道。竹林が茂る趣のある風景

「無高の藩でありながら 繁栄を誇った往時を偲ぶ」

日本最北の藩である松前藩。米が取れなかったために「無高の藩」と呼ばれたが、蝦夷地の産物を一手に掌握し、「松前の春は江戸にもない」と言われるほどの繁栄を遂げた。北前船の交易によって上方文化も浸透し、幕府からは北方警備の任を賜るまでに至ったが、幕末動乱期の度重なる戦禍によって町は焼失。多くの寺もまた、藩士によって焼き払われてしまった。現在の伽藍は、その後再建されたものがほとんどだが、焼失を



12



14 松前家御霊屋内の天井に描かれた花鳥画(法幢寺)
15 法源寺経堂の欄間に施された竜の彫刻

免れた山門の造形美や装飾の見事な技に歴史の重みがかがえる。
繁栄の中心は、その後函館や札幌へと移っていくが、史跡・文化財がいまも残る城下の風情や、参道の大樹一本にさえ、往時を偲ぶ歴史の息吹が感じられる。春の桜は有名だが、秋の景色もなかなか美しい。

歴史と文化が薫る城下町

天守閣を誇る日本最後の城

松前城

日本最北の藩、松前藩。その居城であった松前城は、天守閣を誇る城としては日本で最後に建てられたものである。安政元年(一八五四年)、十七世松前崇広によって築城され、北方警備の必要を幕府に命じられての備えであった。設計は兵学者の市川一学。

しかし、この城は箱館戦争(戊辰戦争)で、新撰組副長の土方歳三率いる旧幕府軍の攻撃によってあつげなく落城した。その時の砲弾のあとがいまも石垣に残されている。

その後、明治四年(一八七



重要文化財指定の本丸御門(手前)と鉄筋コンクリート造で再建された天守閣



本丸表御殿玄関(道有形文化財指定)の欄間彫刻

● 開館時間：9時～17時(4月～12月)
● 入館料：大人 350円・小人 230円

年)の廃藩置県の施行によって城は明治政府のものとなり、天守と本丸施設以外の建物は取り壊された。昭和十六年(一九四一年)、天守と本丸御門、本丸御門東塀が当時の国宝に指定されたが、昭和二十四年(一九四九年)松前町役場からの出火が飛び火し、天守と本丸御門東塀は焼失してしまった。

再建された天守は、現在松前城資料館として公開されている。なお、本丸御門は重要文化財、本丸表御殿玄関は北海道有形文化財指定。

城下の繁栄を再現したテーマパーク

松前藩屋敷

「松前の春は江戸にもない」と言われるほどの繁栄を謳歌した松前城下。幕末には三万人の人が暮らしたという城下町の賑わいを再現したテーマパークが「松前藩屋敷」だ。

ここに再現された建物は十四棟。蝦夷地に出入りするあらゆる物や人から税を徴収したという海の関所「沖の口奉行所」や、北前船の交易で財を築いた「商家」、藩士の屋敷を再現した「武家屋敷」などなど、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのようなリアルな世界が体感できる。

武家屋敷などは、靴を脱いで屋敷内までも見学することができ、当時の暮らしが垣間見えて楽しめる。また、「廻船問屋土蔵」には実際の北前船を十分の一に縮小したレプリカも展示されている。



「廻船問屋土蔵」に展示された北前船のレプリカ

道内では松前にしかない白花タンポポ



北前船の交易で莫大な財を築いた実在の商家「近江屋」を再現



● 開館時間：9時～17時(4月上旬～11月上旬)
● 入館料：大人 350円・小人 230円



5



4



8



7



6

- 4 法源寺山門 江戸時代中期のものと思われる四脚門で、道内最古の山門と言われる(国指定文化財)
- 5 法源氏山門から本堂へと続く境内の参道
- 6 「双竜の滝」が流れる法幢寺の庭園。松前城への導水路を兼ねて造られた
- 7 惣門越しに眺める龍雲院の境内。松前で唯一戦禍を免れた最古の寺
- 8 龍雲院本堂の彫刻 戦禍を免れた本堂に残る欄間彫刻(本堂を含む五棟の伽藍が国重要文化財指定)

寺男の機転で 焼けずに残った最古の寺

もう一カ寺、松前の古刹の中でも創建(改築)当時の姿をほぼそのままに留めているのが龍雲院である。公家から興入れされた、七代公広の正室桂子夫人が、長男の栄達を祈って建立したもので、山号・寺号は桂子夫人と長男の戒名に由来している。建立は寛永二年(一六二五年)。本堂と庫裏は天保十三年(一八四二年)に建て替えられたが、戦禍を唯一免れたこの寺は、松前に残る寺院の中でも最も古いものとされている。箱館戦争(戊辰戦争)で多くの寺が焼き払われた中、この寺だけが焼けずに残ったのは、寺男の機転によって難を逃れたからだと言えられる。



10



9

- 9 緻密な彫刻が残る龍雲院惣門の扉(国重要文化財指定)
- 10 龍雲院の鐘楼(国重要文化財指定)



13



11

- 11 松前家御霊屋 戦禍を免れた貴重な仏堂。室内には歴代藩主の位牌が祀られている(法幢寺)
- 12 松前藩主松前家墓所 19代にわたる歴代藩主とその室、子などを祀る55基の墓碑が静かに並ぶ
- 13 松前家墓所へと続く参道。竹林が茂る趣のある風景



12

「無高の藩でありながら 繁栄を誇った往時を偲ぶ」

日本最北の藩である松前藩。米が取れなかったために「無高の藩」と呼ばれたが、蝦夷地の産物を一手に掌握し、「松前の春は江戸にもない」と言われるほどの繁栄を遂げた。北前船の交易によって上方文化も浸透し、幕府からは北方警備の任を賜るまでに至ったが、幕末動乱期の度重なる戦禍によって町は焼失。多くの寺もまた、藩士によって焼き払われてしまった。現在の伽藍は、その後再建されたものがほとんどだが、焼失を



14 松前家御霊屋内の天井に描かれた花鳥画(法幢寺)
15 法源寺経堂の欄間に施された竜の彫刻

免れた山門の造形美や装飾の見事な技に歴史の重みがかがえる。
繁栄の中心は、その後函館や札幌へと移っていくが、史跡・文化財がいまも残る城下の風情や、参道の大樹一本にさえ、往時を偲ぶ歴史の息吹が感じられる。春の桜は有名だが、秋の景色もなかなか美しい。

歴史と文化が薫る城下町

天守閣を誇る日本最後の城

松前城

日本最北の藩、松前藩。その居城であった松前城は、天守閣を誇る城としては日本で最後に建てられたものである。安政元年(一八五四年)、十七世松前崇広によって築城され、北方警備の必要を幕府に命じられての備えであった。設計は兵学者の市川一学。

しかし、この城は箱館戦争(戊辰戦争)で、新撰組副長の土方歳三率いる旧幕府軍の攻撃によってあつげなく落城した。その時の砲弾のあとがいまも石垣に残されている。

その後、明治四年(一八七



重要文化財指定の本丸御門(手前)と鉄筋コンクリート造で再建された天守閣



本丸表御殿玄関(道有形文化財指定)の欄間彫刻

● 開館時間：9時～17時(4月～12月)
● 入館料：大人 350円・小人 230円

年)の廃藩置県の施行によって城は明治政府のものとなり、天守と本丸施設以外の建物は取り壊された。昭和十六年(一九四一年)、天守と本丸御門、本丸御門東塀が当時の国宝に指定されたが、昭和二十四年(一九四九年)松前町役場からの出火が飛び火し、天守と本丸御門東塀は焼失してしまった。

再建された天守は、現在松前城資料館として公開されている。なお、本丸御門は重要文化財、本丸表御殿玄関は北海道有形文化財指定。

城下の繁栄を再現したテーマパーク

松前藩屋敷

「松前の春は江戸にもない」と言われるほどの繁栄を謳歌した松前城下。幕末には三万人の人が暮らしたという城下町の賑わいを再現したテーマパークが「松前藩屋敷」だ。

ここに再現された建物は十四棟。蝦夷地に出入りするあらゆる物や人から税を徴収したという海の関所「沖の口奉行所」や、北前船の交易で財を築いた「商家」、藩士の屋敷を再現した「武家屋敷」などなど、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのようなリアルな世界が体感できる。

武家屋敷などは、靴を脱いで屋敷内までも見学することができ、当時の暮らしが垣間見えて楽しめる。また、「廻船問屋土蔵」には実際の北前船を十分の一に縮小したレプリカも展示されている。



「廻船問屋土蔵」に展示された北前船のレプリカ

道内では松前にしかない白花タンポポ



北前船の交易で莫大な財を築いた実在の商家「近江屋」を再現



● 開館時間：9時～17時(4月上旬～11月上旬)
● 入館料：大人 350円・小人 230円

未来の話をしませんか。



ほくから見れば

小さなカメも

アリから見ればきっと

大きなカメかな？

みんなおなじ

生きているから

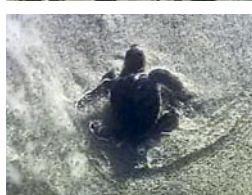
ひとりにひとつずつ

たいせつないのち

伝わるぬくもり

まあいいのち JASRAC 出1008437-001

30年前、このウミガメのCMから、「まあいいのち」が始まりました。



ゆたかな
未来づくり
プロジェクト

まあいいのちが
生まれて30年。

地球上すべての生き物のいのちを、大切に——そんな想いをこめたイルカさんの楽曲「まあいいのち」。私たち住友生命のCMと共に誕生して、30年が経ちました。当時、このCMはカンヌ国際広告祭で銅賞をいただき、「まあいいのち」も世代を超え、今でも多くの方々に愛されています。「いのちがたいせつ」。住友生命はこれからもこの歌のメッセージを原点に、こども絵画コンクールやサンゴ礁保全プロジェクトなどのCSR活動、「ゆたかな未来づくりプロジェクト」を進めてまいります。大切ないのちを育む明るい社会の実現を。それが、住友生命の願いです。

住友生命保険相互会社

本社 〒540-8512 大阪市中央区城見1-4-35 東京本社 〒104-8430 東京都中央区築地7-18-24

生命保険に関するお問い合わせ・お手続きについては
スマセイコールセンター（通話料無料・全国からご利用可能）

みんなコール
☎ 0120-307506

受付時間（日・祝日・年末年始を除く）
月～金曜日 午前9時～午後6時 土曜日 午前9時～午後5時

< <http://www.sumitomolife.co.jp> >

全国曹洞宗青年会
ホームページ「般若」

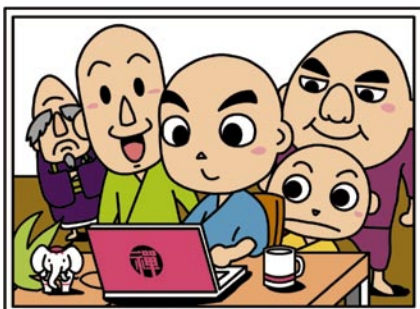
全曹青 般若

検索

全国の曹青会活動をつなぐ情報サイトです。
どうぞ御利用下さい！

特設ページ「SouSei on web」（パスワード制）は、
誌上の補足情報や特別コンテンツが満載です。

*パスワード「1890」を入力して下さい。



イラスト：広瀬知哲 <http://www.we2ya.jp>

お寺のホーム
ページは欲しいけ
ど、自分で作るの
は大変そう…。

でも、業者に
委託して作れ
ば高額な経費
がかかるし…。

今すぐ

SanGa

<http://www.sousei.gr.jp/sanga/>

にアクセス！

無料

全国曹洞宗青年会のSanGaで
寺院ホームページを作りませんか？

全曹青では、日頃からご支援いただいている全国の曹洞宗御寺院専用の無料ホームページ『SanGa』を制作いたしました。この『SanGa』を使えば、お寺の基本情報・地図・年間行事・歴史由来・告知などを掲載したホームページを簡単に作る事ができます。是非この機会にお寺のホームページをお作りいただき、山門行事の広報にお役立てください。

